

埼玉県景気動向指数

2018(平成30)年9月分の概要

平成30年11月30日

埼玉県総務部統計課

1 基調判断

- 景気動向指数（C I一致指数）は、悪化を示している。

2 指数の動き

- 9月のC Iは、先行指数：93.5、一致指数：123.0、遅行指数：123.0となった。
(平成22年=100)
- 先行指数は、前月と比較して4.3ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は、2.10ポイント下降し、3か月連続の下降、7か月後方移動平均は、0.55ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- 一致指数は、前月と比較して3.7ポイント下降し、2か月連続の下降となった。3か月後方移動平均は、1.27ポイント下降し、3か月連続の下降、7か月後方移動平均は、0.22ポイント下降し、6か月ぶりの下降となった。
- 遅行指数は、前月と比較して0.1ポイント上昇し、3か月連続の上昇となった。3か月後方移動平均は、0.40ポイント上昇し、4か月連続の上昇、7か月後方移動平均は、0.06ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

3 一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C2: 県所定外労働時間指数(調査産業計)	0.56	C4: 県有効求人倍率(除学卒)	-1.39
C5: 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル)	0.31	C9: 県耐久消費財出荷指数	-1.18
C7: 県百貨店・スーパー販売額	0.03	C8: 県生産財出荷指数	-0.76
		C3: 県投資財出荷指数	-0.56
		C1: 県生産指数(製造工業)	-0.53
		C6: 県建築着工床面積(非居住用)	-0.10

※ 各個別系列のウェイトは均等です。

4 一致指数の推移

